

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	「親の力」をまなびあう学習プログラム	継続	保護者の学びの場を提供し、家庭教育の支援のための参加型学習の実施	文化と学びの課	妊～高	家庭教育支援事業を含む	家庭教育支援事業を含む	高校生（広島県立日影館高等学校）、子育て支援センターで乳幼児と保護者を対象に実施 実施回数：12回 参加人数：237人	家庭教育支援事業を含む	保育所・小学校・中学校・高校保護者、中学生、高校生及び子育て支援センターを利用する保護者を対象に講座を実施する。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	ブックスタート事業	継続	親子の心触れ合うひとときを持つきっかけをつくり、親子の絆を深めることを目的に乳児と保護者に対して絵本の楽しさを伝え、絵本をプレゼント	子育て支援課	乳	520千円	362千円	配布数：339人（4ヶ月乳児健診時等）	520千円	親子の絆を深め、絵本の楽しさを伝えるブックスタート事業を推進するため、積極的な広報で市民周知を図る。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	乳幼児ふれあい事業	R01新規	高校生が乳幼児とふれあう機会を提供し、家族の大切さ、命の大切さを実感し、将来のライフイベントを考えるきっかけとする。	子育て支援課	高	112千円	0千円	新型コロナウイルス感染症の拡大のため、予定していた事業を中止したため、実績なし。	112千円	市内公立保育所（2所）、みよし森のポッケ、地域子育て支援センター（直営2所）で冬休み期間に実施予定。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	リズムあそび推進事業	継続	乳幼児期に身に付けるべき「からだ」「こころ」「言葉」の発達を促進	子育て支援課	乳・幼	1,566千円	89千円	新規採用職員等を中心とした実技研修会を開催し、子どもたちが、楽しみながらあそびが広がる環境づくりに取り組んだ。 参加者：延97人	—	フォローアップ研修を実施するなど、子どもたちが楽しんで活動でき、あそびが広がる環境づくりの取組を継続する。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	赤ちゃん教室	継続	親子のふれあいや遊び、マッサージなどについて学ぶ教室等を開催	健康推進課	乳・幼	34千円	—	親子のふれあいや遊び、マッサージなどについて学ぶ、教室の他、オンライン講座やサテライト巡回相談、出前講座等により対応した。 オンライン講座 19回 106人 教室 5回 27人	—	親子のふれあい遊びやマッサージ等について学ぶ、教室開催、オンライン講座やサテライト巡回相談、出前講座等により周知を図る。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	こどもの「遊び」推進事業	継続	子育て世代の親子に対し、親子の共感や絆を深めるため、みよし森のポッケを拠点に、木育による「遊び」を推進	子育て支援課	乳～小	17,491千円	12,640千円	季節や天候に左右されず、親子が安心して遊べる場所「みよし 森のポッケ」を運営し、親子のふれあいと、木のおもちゃを中心とした木育を推進した。 入館者数：11,649人	16,282千円	親子の共感や絆を深めるため、みよし森のポッケを拠点に、木育による「遊び」を推進する（みよし森のポッケの運営、出張事業の実施等（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等の実施は未定））。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	家庭教育支援事業	継続	家庭教育力の向上をめざすために、地域での家庭教育支援チームの検討など、家庭教育支援に関する事業の実施	文化と学びの課 子育て支援課 健康推進課	幼～高	551千円	130千円	甲奴地区家庭教育支援チームが文部科学省によって正式に認定。全国の家庭教育支援チーム一覧に登録される。 8月に子ども食堂、令和3年3月に県教委と連携した「カーターセンターまるごとあそびのひろば」を開催。	692千円	保育所・小学校・中学校・高校保護者、中学生、高校生及び子育て支援センターを利用する保護者を対象に講座を実施する。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業	R01新規 (継続)	幼稚園・保育所・小学校の教員等が協議して接続の取組を進め、子どもの育ちと学びを連続させていく幼保小連携教育の充実への支援	学校教育課	幼～小	300千円	179千円	・三次市幼保小連携教育合同研修会の開催 運営、講師招聘 ・三次市幼保小連携推進協議会 運営、講師招聘	300千円	・三次市幼保小連携教育合同研修会の開催 運営、講師招聘 ・三次市幼保小連携推進協議会 運営、講師招聘
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	体験活動充実事業 (令和元年度まで) みよし版わくわく体験活動推進事業	継続	三次市内外における長期宿泊体験活動を実施することに対する経費の援助	学校教育課	小	3,000千円	838千円	・市内12校の小中学校が1日のみ（または宿泊を伴わない方法で2日以上）の体験活動を実施	1,000千円	・全小中学校が実施予定（隔年実施校を除く） ・地元の宿泊施設等を利用、複数の小中学校と一緒に体験活動を実施等、学校の実態により工夫して実施予定。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	環境活動の支援	R01新規 R02終了	小学校などで行う希少動植物の保護活動などの環境学習・活動の支援	環境政策課	小	—	—	市内の小中学校1年生、2年生を対象に「環境基本計画の子ども版」を、環境学習の教材として配布した。	—	R2年度で事業を終了した。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	《三次版学校ICT活用事業》 小中学校ネットワーク整備事業 (R元年度まで) 学校ICT整備事業	継続	小中学校へICT機器を導入し、情報手段を適切に活用し、社会変化への対応力を養成	学校教育課	小・中	4,800千円	350,746千円	・一人1台のタブレット端末の整備を行った。 ・安定・安全なインターネット利用が可能となるように体育館等にもネットワーク環境を整えた。	—	—
	《三次版学校ICT活用事業》 ICT活用推進事業 (R元年度まで) 学校ICT整備事業		ICT機器を効果的に活用した学力向上への取組					4,783千円		

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	個々の学び支援事業【市費教員】 (R元年度まで) 学力ぐんぐん事業 ①ぐんぐん教員	継続	個に応じたきめ細やかな指導をすることにより、確かな学力の定着と学習意欲の向上を図るために、市費教員を採用	学校教育課	小・中	43,997千円	33,337千円	・市費教員（非常勤講師含む）9人を配置（小学校1人、中学校8人） ・複式学級のある小学校に理科支援教員を配置し、実験補助や理科指導の充実を進めるとともに、外国語指導員を配置し、外国語教育の充実に取り組んだ。	31,569千円	市費教員（非常勤講師）8人を配置（中学校8人）、理科支援教員3名及び外国語指導員3名
	個々の学習支援事業 (R元年度まで) 学力ぐんぐん事業 ②ぐんぐん学力	継続	児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるため、学力到達度検査の実施と問題データベースを提供							
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	特色ある学校づくり創造事業	R01終了	地域や子どもの実態に応じた学校独自に創意工夫した豊かな教育内容の創造や教育活動を支援（経費の支援）	学校教育課	小・中	—	—	—	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	小中一貫教育充実事業	R02新規	地域や子どもの実態に応じた学校独自に創意工夫した豊かな教育内容の創造や教育活動を支援（経費の支援）	学校教育課	小・中	2,000千円	1,648千円	キャリア教育を軸に、共通の教育課程「コアカリキュラム」と、各中学校区の特色を活かした「オリジナルカリキュラム」を全ての中学校区で行った。	2,000千円	キャリア教育を軸に、共通の教育課程「コアカリキュラム」と、各中学校区の特色を活かした「オリジナルカリキュラム」を全ての中学校区で行う。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	子ども芸術ふれあい事業	継続	芸術文化の振興のため、子どもたちに本物の芸術文化に触れる機会を提供（舞台芸術・音楽・映画など） 日頃の練習の成果を大舞台上で発表する機会を提供。	文化と学びの課	小・中	10,000千円	712千円	・小・中学生芸術鑑賞事業 参加者：252人 ・三次きらきらコンサート（三次市吹奏楽演奏会） 参加者：184人	10,000千円	・小・中学生芸術鑑賞事業 ・三次きらきらコンサート（三次市吹奏楽演奏会）を実施する。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金	継続	市内のおおむね18歳以下の子どものスポーツ・文化の振興と育成に対する活動助成及び用具整備	文化と学びの課	小～高	10,000千円	7,293千円	・補助金交付：市内59団体 ・みよし運動公園で使用する用具購入	10,000千円	小中高生の団体向けに、HP等を活用し多くの団体に利用してもらえよう周知を図る。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	青少年体験活動事業補助金	継続	市内の青少年自然体験活動などを行う団体に対する助成	文化と学びの課	小～高	400千円	316千円	・活動助成：市内3団体	400千円	・市内5団体への助成を予定
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	魅力ある高校づくり支援事業	R02終了	市内3高校における魅力向上につながる校内活動や地域貢献活動を支援	文化と学びの課	高	3,000千円	1,955千円	・市内3高校に魅力向上につながる校内活動や地域貢献活動を支援するため補助金を交付した。 ・新型コロナウイルス感染症のため、予定していた実施事業（海外インターンシップなど）が中止された。	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	高校生地域活動支援事業	R03新規	市内3高校における高校生が取り組む地域振興または地域貢献活動に対する支援	文化と学びの課	高	—	—	—	1,800千円	地域に開かれた高等学校を推進するため、市内高校生が取り組む地域振興または地域貢献活動に対して補助金を交付する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	妊産婦健診助成事業	継続	妊婦健診・妊婦歯科健診・産婦健診の費用助成	健康推進課	妊	36,274千円	32,774千円	妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健診の費用助成を行った。 妊婦健診実人数：308人 妊婦健診延人数：4,643人 産婦健診受診件数：446人 妊婦歯科健診実人数：133人	31,397千円	妊婦健診・妊婦歯科健診・産婦健診の費用助成の継続実施。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	不育治療費助成事業	継続	不育治療に要する費用を助成	健康推進課	妊	18,050千円	19,334千円	不妊検査・不妊治療・不育治療に要する費用を助成した。 不妊治療申請延件数：45件 不妊検査・一般不妊治療申請延件数：35件 不育治療申請件数：1件 妊娠届出件数：36件	11,780千円	継続して不妊検査・不妊治療・不育治療に要する費用を助成を行い経済的な負担の軽減につなげる。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	不妊治療費助成事業	継続	不妊検査・不妊治療に要する費用の全額を助成	健康推進課	妊					

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	パパママ教室	継続	妊娠・出産・育児についての学習及び妊婦の心身の健康づくりの場・家族の交流の場として開催	健康推進課	妊	62千円	21千円	妊娠・出産・育児についての学習及び妊婦とその家族の交流の場として同様に実施。さらにマタニティ・ヨガを実施して、心身の健康づくりの教室を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数が減少したが、個別の対応を行った。 実施回数：5回 参加者：86人	41千円	妊娠・出産・育児についての学習及び妊婦とその家族の交流の場として実施。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子健康手帳の交付・相談支援	継続	母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が面接相談を行い、必要な支援を実施	健康推進課	妊	143千円	114千円	母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が面接相談を行い、必要な支援を実施。 母子健康手帳交付数：337件 支援計画作成：68件	122千円	母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が面接相談を行い、必要な支援を実施。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子保健推進連絡会議	継続	市内産科医、小児科医、精神科医などと母子保健に関する連携	健康推進課	妊	78千円	32千円	市内産科医、小児科医、精神科医等と母子保健に関する連携会議を実施した。1回/年実施。	63千円	市内産科医、小児科医、精神科医等と母子保健に関する連携会議を実施する。2回/年実施。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子育て相談	継続	育児などに関する相談（11か月、2歳児、他年齢を問わず実施）	健康推進課	妊	—	—	育児などに関する相談を実施した。 11か月児相談：8回127人 2歳児相談：7回102人	—	子育て、発育、栄養等に関する相談を継続して実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	妊婦全戸訪問事業	継続	課題の早期発見・早期支援に取り組むため、保健師、助産師、看護師などが妊娠8か月の妊婦全員の家庭を訪問し、相談に対応	健康推進課	妊	91千円	63千円	うつ等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、看護師などが妊娠8か月の妊婦全員の家庭を訪問し、相談に対応しつながりをつくった。 妊婦訪問件数：213件	180千円	うつ等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、看護師などが妊娠8か月の妊婦全員の家庭を訪問し、相談に対応する。継続実施。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ネウボラみよし事業	継続	妊娠期からの相談支援に加え新たに産後ケア事業（産婦訪問、デイサービスの実施など）を実施	健康推進課	妊・乳	10,000千円	12,496千円	妊娠期からの相談支援に加え産後ケア事業【母乳育児相談助成、産後ケア（宿泊・デイ）、産前産後ヘルパー派遣事業等】の実施をした。産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業の利用料を無料にし、新型コロナウイルス感染症の影響により里帰り等の支援を受けにくい妊産婦の負担軽減を図った。 妊婦訪問：213件 妊婦連絡：105件 産後ケア事業（母乳育児相談助成）：72件 産後ケア事業（宿泊・デイ）：実7人（延37件） 産前・産後ヘルパー派遣：実28件（延378件） 産前・産後サポート事業（母子保健推進員乳児訪問等）：10件	12,551千円	妊娠期からの相談支援に加え産後ケア事業【母乳育児相談助成、産後ケア（宿泊・デイ・アウトリーチ）、産前産後ヘルパー派遣事業等】を継続して実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	産婦健診助成の拡充	継続	1回助成を2回助成に拡充するとともに、産婦健診時に産後うつスクリーニングを実施	健康推進課	妊・乳	妊産婦健診を含む	妊産婦健診を含む	産後2回（2週・1か月）に産婦健診費用助成を行う。また産後うつスクリーニングを実施し産後うつ等の早期発見、支援につなげる。必要時産後2週の健診時に保健師が同席して医療機関と連携して支援を行った。 産婦健診：446件 2週間健診保健師同席：4件	妊産婦健診を含む	産後2回（2週・1か月）に産婦健診費用助成を行う。また産後うつスクリーニングを実施し産後うつ等の早期発見、支援につなげる。必要時産後2週の健診時に保健師が同席して医療機関と連携して継続して支援を行う。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子保健推進員活動	継続	市が委嘱する母子保健推進員が乳幼児の家庭への訪問や地域の子育て支援行事などを実施	健康推進課	妊～幼	1,350千円	1,302千円	市が委嘱する母子保健推進員が乳幼児の家庭への訪問や地域の子育て支援行事などを実施した。 地区活動従事者人数：延785人 母子保健推進員研修会：7回（ブロック5回・全体研修会2回）	1,350千円	市が委嘱する母子保健推進員が乳幼児の家庭への訪問や地域の子育て支援行事などを実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	食育推進事業①	継続	妊娠期、授乳期、離乳期における食生活についての栄養相談、5か月から18か月頃の乳幼児の離乳食について学ぶ離乳食講座、ネウボラサテライト巡回相談、保育所・幼稚園で「子ども健塩教室」などを開催	健康推進課	妊～幼	218千円	39千円	栄養相談は、健診だけでなく、個別で電話・訪問等に対応。離乳食講座は、オンラインも開設し対応。対面による離乳食講座は、7回開催し24人参加。オンライン離乳食講座は5回開催し19人の参加があった。保育所・幼稚園での子ども健塩講座は1回開催し19人の参加があった。	60千円	妊娠期、授乳期、離乳期における食生活についての栄養相談、5か月から18か月頃の乳幼児の離乳食について学ぶ離乳食講座、ネウボラサテライト栄養相談、保育所・幼稚園で「子ども健塩講座」などを開催。

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	乳児家庭全戸訪問事業と産婦訪問	継続	課題の早期発見・早期支援に取り組むため、保健師、助産師、母子保健推進員などが生後4か月までの乳児と産婦全員の家庭を訪問し、相談に対応	健康推進課	乳	※ネウボラみよし事業に含む	※ネウボラみよし事業に含む	母子の健康状況等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、母子保健推進員などが生後4か月までの乳児と産婦全員の家庭を訪問し、相談に対応した。 産婦訪問：延343人 新生児訪問：延132人 未熟児訪問：延27人 乳児訪問：延290人	※ネウボラみよし事業に含む	母子の健康状況等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、母子保健推進員などが生後4か月までの乳児と産婦全員の家庭を訪問し、相談に対応する。継続実施。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	多子世帯保育利用料（保育料）軽減事業	継続	市内の認可保育所、私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している第2子目以降の児童に対する保育利用料（保育料）を減額	子育て支援課	乳・幼	10,000千円	6,493千円	幼稚園及び認可外保育施設に通う第2子目以降の児童に対する保育料を減額した。 対象者：97人	9,655千円	幼稚園及び認可外保育施設に通う第2子目以降の児童に対する保育料を減額する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	副食費（給食費）補助事業	R01新規	私立保育所・認定こども園・私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している3歳から5歳の児童に対する副食費（給食費）を減額・補助	子育て支援課	幼	19,386千円	8,013千円	私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している3歳から5歳の児童に対する副食費（給食費）を補助した。 対象者：282人	13,446千円	私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している3歳から5歳の児童に対する副食費（給食費）を補助する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	こども発達支援センター運営事業	継続	発達面で心配のある乳幼児の早期発見、適切な養育指導、発達相談を実施	子育て支援課	乳・幼	30,700千円	26,176千円	発達相談、通所教室、保護者支援、保育所支援を実施した。 開設日数 243日 利用延人数 3,254人	32,447千円	発達面に心配のある乳幼児の早期発見・早期支援（発達相談、通所教室、保護者支援、保育所支援の実施）
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	地域子育て支援センター運営事業	継続	市内7か所の地域子育て支援センターを拠点とし、遊び場の提供、子育て相談、子育て講座など、地域の子育てニーズに対応した事業を実施	子育て支援課	乳・幼	51,701千円	50,165千円	年間延べ利用者数（親子総数） 公営（3ヶ所）7,320人 民営（4ヶ所）4,172人	49,523千円	北部あそびの広場をネウボラサテライトに位置づけ、北部地域の拠点として乳幼児と保護者の子育てをサポートする。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	3歳未満児保育所入所枠拡充事業	R01終了	3歳未満児の受入可能な施設整備及び人材確保	子育て支援課	乳・幼	—	—	—	—	—
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	1歳6か月児健診事後教室	継続	1歳6か月児健診後、発達の支援を行う教室を開催	健康推進課	乳・幼	472千円	0千円	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、1歳6か月児健診後、発達の支援を行う教室を開催することができず、個別心理相談の回数を増やし対応した。 こども発達支援センター、子鹿医療療育センター、保育所等との連携を行った。	300千円	継続して1歳6か月児健診後のフォロー教室として実施し、適切な支援へつなげる。こども発達支援センターや子鹿医療療育センターとの連携を行う。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	乳幼児健康診査	継続	4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施	健康推進課	乳・幼	3,522千円	3,123千円	4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施した。 乳児健診：22回336人 1歳6か月児：18回365人 3歳児：18回398人	3,319千円	4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施する。課題の早期発見、早期支援に努め、時間を有効に相談内容も充実させる。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	発達支援事業	継続	ことばの遅れや落ち着きがないなど、発達の悩みに対し、療育教室や相談などを実施	子育て支援課	乳・幼	—	—	こども発達支援センター運営事業において実施した。	—	こども発達支援センター運営事業において実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	障害児保育事業	継続	発達に課題のある児童に対し職員を配置した私立、民間委託保育所に助成	子育て支援課	乳・幼	20,000千円	15,911千円	障害児などに対する支援保育士の人件費を助成し、職員体制整備の補償を行った。 保育所：3所 認定こども園：1園	20,000千円	障害児保育事業にかかる補助金（民間委託保育所、私立保育園、認定こども園）
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	一時預かり保育	継続	一時的に保育が必要となる場合、保育サービスを実施	子育て支援課	乳・幼	6,952千円	5,831千円	一時預かり保育を実施する私立保育所・認定こども園等に補助金を交付し、保育サービス提供体制を確保するための支援を行った。 3施設、延人数418人	5,757千円	認定みゆきこども園・サングリーン・三次あゆみ保育園において一時保育を実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	休日保育	継続	休日に保育ができない事情がある場合に、保育サービスを実施	子育て支援課	乳・幼	3,333千円	3,331千円	東光保育所において実施 延人数128人	3,333千円	認可保育所に入所している児童に対して休日に保育ができない事情がある場合に、東光保育所において休日保育を実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	病児・病後児保育	継続	子どもが病気の回復期または回復期に至らない場合で、家庭で保育できない場合に保育サービスを実施	子育て支援課	乳～小	11,139千円	9,260千円	開設日数・利用者数 病児・病後児保育室 すぐすぐ 243日・98人 病後児保育室 おひさま 294日・57人	11,577千円	急な子どもの病気時に、保護者がよりスムーズな手続きで安心して利用できるよう対応を検討する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子育てサポート事業	継続	子育ての援助をしたい「まかせて会員」が、子育ての援助をしてほしい「おねがい会員」の子どもを自宅で預かる援助活動	子育て支援課	乳～小	4,483千円	4,714千円	活動件数：803件 活動時間：3,646時間 会員数：909人	4,477千円	「まかせて会員」の交流を推進する。

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	こども医療費助成事業	継続	子どもの医療費を助成	子育て支援課	乳～高	132,989千円	123,124千円	18歳までの子どもの医療費を助成 対象者：7,321人	116,626千円	子どもの医療費を助成
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	継続	ひとり親家庭の親及び子が、高卒認定試験の合格をめざす場合に、対策講座の受講費用の一部を支給（市の上乗せ支給有）	子育て支援課	乳～高	150千円	0千円	児童扶養手当現況届出時（8月）に制度説明も行ったが、利用者はいなかった。	150千円	①対策講座の受講費用：40%（上限20万円）を20%（上限10万円）に変更 ②上記受給者が2年以内に全科目合格した場合60%（上限25万円）を40%（上限15万円）に変更
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭高等職業訓練促進費給付事業	継続	ひとり親家庭の親が就職に有利な資格取得のため養成機関で1年以上修業をする場合に、修業期間中に給付金を支給（市の上乗せ支給有）	子育て支援課	乳～高	4,850千円	2,450千円	訓練促進給付金支給人数：2人 （継続1人、新規1人） 修了支援給付金人数：1人	6,410千円	ひとり親家庭の親が、資格取得のために国制度である高等職業訓練促進費を利用する場合、国の給付（H31.4拡充）に加えて、市独自で上乗せ給付（修業期間の最後の1年を除いた期間30,000円/年）を行う。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等家賃補助事業	H30終了	離婚などによるひとり親家庭などの生活の激変を一定期間緩和するため、市内の民間アパートなどに居住するひとり親家庭などに対し、家賃の一部を補助	子育て支援課	乳～高	—	—	—	—	—
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等住居確保事業	R01新規	ひとり親家庭等になって最初に住居を準備する際の引越費用、賃貸住宅契約時の費用や家賃の一部を補助する。	子育て支援課	乳～高	10,000千円	7,151千円	ひとり親家庭等住居確保支援事業 補助人数：85人（旧事業含む）	6,842千円	ひとり親家庭等になって最初に住居を準備する際の引越費用、賃貸住宅契約時の費用や家賃の一部を補助する。 ①家賃補助支給期間を3年から2年に変更 ②初めてひとり親になる時の引越し等費用の1/2を補助（上限12万円）
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等家計管理講習会・個別相談事業	R01新規	ひとり親家庭等の親を対象に、子育てに必要な資金等、将来を見据えて家計を管理する能力の向上と、自立につなげる。（平成31年度から新規の家賃補助受給者は、受講必須）	子育て支援課	乳～高	270千円	107千円	・講習会を計5回開催 （新型コロナウイルス感染症対応 zoom開催 2回） ・受講人数：22人	305千円	・「ひとり親家庭等家賃補助事業」新規認定者対象（必須）5回実施予定
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等スポーツ観戦・文化鑑賞事業	継続	ひとり親家庭などを対象にスポーツ観戦や文化鑑賞の機会を提供	子育て支援課	乳～高	500千円	56千円	PIXAR「2分の1の魔法」：21世帯・51人	500千円	親子のふれあう時間を作るため、スポーツ観戦、文化鑑賞の機会を提供する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子どもと家庭及び女性に関する相談	継続	・専門の相談員などによる、児童虐待、養育困難などに関する相談、母子・父子家庭の家庭紛争、就労、資金貸付などの相談、配偶者からの暴力などに関する相談の対応	子育て支援課	乳～高	14,129千円	12,413千円	○婦人相談件数 290件（実人数70人） うちDV相談162件（実人数21人） ○児童家庭相談 360件（実人数167人） ○母子・父子自立支援相談 260件（実人数209人） ○すくすくネットワーク（要保護児童対策地域協議会）関係会議開催 代表者会議1回、実務者会議6回 個別ケース検討会議21回 ○ペアレントトレーニング保護者教室（はなまる教室） 全5回実施	17,939千円	○母子・父子自立支援員が、母子・父子の将来を見据えた生活設計について意識の高揚を図り、ファイナンシャル・プランナーの資格を持つ専門家の個別相談につなぐことで、ひとり親家庭の家庭経済のフォロー体制を強化する。 ○すくすくネットワークにDV防止機能を加え、構成団体として4団体を加え、情報共有と連携強化を図る。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます		継続	・要保護児童対策地域協議会（すくすくネットワーク）により、児童相談所、警察などとの連携による虐待の発生予防、早期発見、早期対応など							
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます		継続	・育児に悩んでいる保護者に、子どもと上手に関わるコツを学習するペアレントトレーニング保護者教室を開催							
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子家庭等自立支援教育訓練給付事業	継続	ひとり親家庭の親が医療事務などの対象講座を受講した場合、受講料の一部を支給	子育て支援課	乳～高	200千円	0千円	児童扶養手当現況届出時（8月）に制度説明も行ったが、利用者はいなかった。	200千円	○母子・父子自立支援員の相談事業と合わせ、制度周知の機会を増やし、適切な対応をする。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等医療費助成	継続	ひとり親家庭の親又は養育者とその児童の医療費の自己負担分の一部を助成	子育て支援課	乳～高	21,825千円	18,582千円	受給者数：707人 支払件数：6,549件	17,711千円	ひとり親家庭の親又は養育者とその児童の医療費の自己負担分の一部を助成
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	3歳児健診視力検査事業	継続	視力検査機器の導入による早期発見	健康推進課	幼	—	—	これまでの問診、ランドルト式検査とさらに視力検査機器の導入による早期発見を行い適切な支援につなげた。 398人実施	—	これまでの問診、ランドルト式検査とさらに視力検査機器により早期発見を行い適切な支援につなげる。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子どもの居場所づくり推進事業	継続	主に保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生を対象とした生活拠点としての支援など	文化と学びの課	小	197,824千円	169,666千円	・放課後児童クラブ（公営20ヶ所、委託1ヶ所） 利用者数 654人 ・小規模型放課後児童クラブ事業補助金交付（1ヶ所） 利用者数：10人 ・放課後子ども教室（10ヶ所）	221,300千円	・放課後児童クラブ（公営20ヶ所、委託1ヶ所） 定員 875人 ・小規模型放課後児童クラブ事業補助金交付（1ヶ所） 利用者数：10人 ・放課後子ども教室（10ヶ所）

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	青少年育成講習会「命の授業」	継続	小学生を対象として、命と身体についての正しい知識と、相手に対する思いやりや、命の大切さについて学ぶ講座を開催	健康推進課	小	—	—	保育所の児童、小学生を対象として、命の誕生と命のつながりと命の大切さを学ぶ講座を開催。	保育所の児童、小学生を対象として、命の誕生と命のつながりと命の大切さを学ぶ講座を実施する。	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます		継続		文化と学びの課						
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	個々の学び支援事業【学校支援員<教育支援員>】	継続	通常の学級に在籍する特別な配慮が必要な児童生徒にきめ細やかな支援・指導の充実を図るために学校支援員及び教育支援員を配置	学校教育課	小・中	66,508千円	54,649千円	・18校28人の学校支援員及び教育支援員を配置 ・担任等と連携を図りながら学校支援員がきめ細やかな支援や指導を行うことで、児童生徒の学力の向上や生活力の向上につながった。	通常の学級に在籍する特別な配慮が必要な児童生徒にきめ細やかな支援・指導の充実を図るために学校支援員22人、教育支援員6人を配置	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	いじめ防止・不登校対策推進事業	継続	不登校の未然防止などのために、学校・家庭・地域が連携して取り組むための教育相談員、地域サポーターなどを配置	学校教育課	小・中	20,870千円	19,071千円	・相談件数：こども応援センター1,201件、三次市スクールカウンセラー206件 ・適応指導教室 入室・体験者数24人 ・三次市スクールサポーター学校訪問回数201回 ・学校、家庭、地域等が連携して取り組み、いじめや不登校等の未然防止を図ることができた。	いじめや不登校等の未然防止のため、教育相談員、青少年指導相談員、スクールカウンセラー、スクールサポーター、地域サポーター等を配置する。	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	就学援助事業	継続	家庭の経済的理由のために就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品などの経費を援助	学校教育課	小・中	52,538千円	44,863千円	学用品費等、学校給食費、医療費の援助を行った。	学用品費等、学校給食費、医療費の援助を行う	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	個々の学び支援事業【特別支援教育<障害児介助指導員>】	継続	特別支援学級において生活支援等の特別な支援を必要とする児童生徒に対して、基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助や学習支援を行うほか、児童生徒の安全面の確保などを行うため、障害児介助指導員を配置	学校教育課	小・中	44,223千円	39,936千円	・障害児介助指導員11校に22人配置 ・障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや障害の状態に応じた指導を行うことができた。	・障害児介助指導員12校へ22人配置	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	学校ICT整備事業	H30終了	特別支援学級にICT機器を導入し、障害の状態や発達の段階などを踏まえた個々の教育的ニーズに即した指導の実施	学校教育課	小・中	—	—	—	—	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	学びの支援活動推進事業	継続	子どもが生まれ育った環境にかかわらず基礎学力が定着できるよう、住民自治組織などの非営利団体が学習支援を実施する場合の補助や学習補充などの実施	文化と学びの課	小～高	1,000千円	1,000千円	地域の学習指導活動事業の補助支援を行った。支援実績：1件・1,000,000円	地域の学習指導活動事業の補助を実施する。	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	青少年育成講演会「性と生を考える講演会」	継続	中学生以上を対象とした、自分の心と身体について学ぶ講演会の実施	文化と学びの課	中・高	62千円	31千円	中学生とその保護者を対象に、青少年育成講演会「性と生を考える講演会」を開催。参加者：75人（吉舎中）	中学生とその保護者を対象に、青少年育成講演会「性と生を考える講演会」を実施する。中学校2校を予定	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等入学支度金	継続	ひとり親家庭の子どもが高等学校、大学などに入学する際に入学支度金を支給	子育て支援課	高	3,995千円	3,280千円	○高等学校等入学支度金（3万円）支給者数 56人 ○大学等入学支度金（5万円）支給者数 32人 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、申請期間を6月末から8月末に延長した。	平成31年度から高等学校等入学支度金を2万円から3万円に増額。	
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	三次市教育奨学金	継続	就学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な生徒に対し、奨学金を無利子で貸付	文化と学びの課	高	10,000千円	10,000千円	高等学校、大学等に在学する経済的理由により就学困難な生徒・学生に奨学金を貸付けを行った 実績：98件・44,262千円 三次市教育奨学金基金への基金繰入：10,000千円	高等学校、大学等に在学する経済的理由により就学困難な生徒・学生に奨学金を無利息で貸付	
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	ひろしまの森づくり事業	継続	森林体験学習や森林ボランティアの育成活動など、地域住民やNPO法人、企業などが地域ニーズに応じて取り組む自主的な活動を支援	農政課	幼～高	29,200千円	29,200千円	市内の里山の景観保全を図り、地域住民が里山にふれあう環境整備を行うと共に、森林・林業について学ぶ体験活動への支援を行い、参加された皆様に山や自然について関心を深めていただいた。 体験学習活動団体：175人参加	森林・林業について学ぶ体験活動に対し、参加される住民団体等への支援。手入れ不足の里山の景観保全等を目的に森林整備を行う。	
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	子ども用調理器具・食育媒体貸し出し事業	継続	子ども用の調理器具や食育媒体の貸し出し（無料）	健康推進課	幼～高	—	—	調理器具の貸し出しは、新型コロナウイルス感染対策による調理実習減少により要望が少なかった。 包丁7本・ピーラー5本・まな板5枚 貸出件数：2件	子ども用の調理器具や食育媒体（「やさしい元気のおぼこ」CD・DVD、「みよし版食育かるた」の貸し出し（無料）	

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	平和祈念事業	継続	平和への機運醸成のため、平和の灯ろうコンテスト作品や平和折り鶴を募集するとともに、平和のつどいを開催	定住対策・暮らし支援課	幼～高	1,433千円	376千円	・平和の灯ろうコンテストには、243点の応募があり、幼児の部・小学生の部・中学生の部・一般（高校生含む）の4部門で、それぞれ3作品を表彰した。 ・平和のつどいは規模を縮小して開催し、「平和の灯ろうコンテスト」と、被爆75周年記念事業として「平和への想い（一筆箋）」作品の表彰式を行うとともに、灯ろうで「75折・平和」と文字を描いた様子をドローンで空撮し、三次市から平和を発信した。 ・平和への思いを込めた平和折り鶴の募集には、市民から13,611羽の折り鶴が寄せられ、平和への願いとともに広島平和記念公園の原爆の子の像へ手向けた。	1,055千円	・平和への機運醸成のため、平和の灯ろうコンテストの作品募集（幼児・小学生・中学生・一般の4部門）や平和折り鶴の受付を行う。 ・平和のつどいを開催し、三良坂から平和文化情報を発信し、平和の尊さについて次世代へ伝えていく。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	食育推進事業②	継続	三次市食生活推進協議会と連携した児童クラブ食育講座や食育川柳の募集等により食育を啓発	健康推進課	小	80千円	3千円	児童クラブ食育講座は、食生活推進協議会と連携し、1か所を実施。48人の児童に「食育5つの力」や「食育クイズ」を通して、啓発を行った。夏休み短縮のため、食育絵画ポスター募集は中止した。	5千円	三次市食生活推進協議会と連携した児童クラブ食育講座、夏休み食育川柳コンクールを実施。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	スポーツのまちみよし応援事業（子どもの夢を応援）	継続	子どもの競技力とスポーツへの関心を高めることをめざして、プロスポーツ選手などによるスポーツ教室の開催を支援	地域振興課	小	3,000千円	405千円	【トップアスリートによるスポーツ教室】プロスポーツ選手等による子どものスポーツ教室実施に対し補助金を交付した。 ・三次地区女子サッカースクールプロジェクト（参加者210人） ・広島ドラゴンフライズによるバスケットボールクリニック（参加者48人）	1,610千円	R3年度より【スポーツのまちみよし応援事業（子どもの夢を応援）】市内の子どもの競技力向上とスポーツへの関心を高め、スポーツを通じて子どもの夢を応援することを目的として実施される事業に対し補助金を交付する。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	英語力向上事業（R元年度まで） 小中学校外国語推進事業	継続	A L T などによる小学校外国語活動、中学校外国語授業を実施	学校教育課	小・中	64,000千円	63,999千円	・全校に外国語指導助手（ALT）12人を計画的に配置。 ・児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。	59,000千円	令和2年度より、「英語力向上事業」 ・全校に外国語指導助手（ALT）11人を計画的に配置。 ・年1回のイングリッシュキャンプの実施
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	国際交流推進事業	継続	姉妹都市、友好都市などとの交流の推進及び子どもたちが世界の文化に触れる体験を通じて豊かな国際感覚を育成	定住対策・暮らし支援課	小・中	7,857千円	—	中学生を対象とした海外友好・姉妹都市との訪問・受入などの交流事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、安全性を考慮し事業中止となった。	4,304千円	姉妹都市、友好都市等への小・中学生の派遣・受入事業に対する助成などを通して国際交流を促進し、国際感覚豊かな人材の育成を図る。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	全国川サミット開催事業	H30終了	「市民ホールきりり」で開催する全国川サミットで市内外の小中学生が行う学習発表や専門家による川に関する講演の聴講を通じ、郷土の特徴である三川合流部などの河川環境への関心を高め、ふるさとの川への愛着心を育成	都市建築課	小・中	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	電力監視装置設置「見える化」事業	R01新規 R01終了	学校への電力監視装置の設置による見える化事業を通じて、学校内の電力使用量の監視と使用効率を考慮省エネルギーにつなげる教育を実施	環境政策課	小・中	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	子ども夢・未来塾	R01終了	夢を与える場を提供（イングリッシュ・キャンプ、トップアスリートの招聘）	学校教育課	小・中	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	まち・ゆめ基本条例啓発事業	継続	条例の若者への周知を目的に、中学生まちづくり作文募集及び優秀作品の表彰を実施	地域振興課	中	3千円	0千円	中学生まちづくり作文について、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏休みの短縮等が行われ、教育現場に大きな負担となることを鑑み、実施を見送った。 出前講座については9団体から申込みがあり、講座を実施した。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1団体中止）	823千円	小学校6年生、中学校1年生を対象に啓発用資料を配布し、中学生まちづくり作文の募集を行っている。また、出前講座について継続実施をし、条例の啓発を行う。今年度は、検証委員会による条例の検証を行う年になっており、2～3回の検証委員会の開催を予定している。

三次市子どもの未来応援宣言 令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和2年度個別事業の取組実績			令和3年度個別事業の取組	
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	実施予定事業
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	がんばる中学生の英語学習応援事業	継続	実用英語技能検定の受検機会の拡大による中学生の英語力及び学習意欲の向上を図るため検定料の全額を補助	学校教育課	中	1,807千円	1,399千円	・英語検定料の全額補助（中学生4級以上、小学生5級以上）を実施 ・受験者数399人 ・英検にチャレンジすることで、英語への学習意欲が向上した。 ・中学校卒業段階での3級相当以上の英語力を有する生徒の割合：三次市51.6%（国県の目標50%）	1,700千円	・英語検定料の全額補助（中学生4級以上、小学生5級以上）を継続
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	魅力ある高校づくり支援事業（海外インターンシップ研修支援事業）	R02終了	市内3高校における魅力向上につながる校内活動や地域貢献活動を支援	文化と学びの課	高	—	—	（魅力ある高校づくり支援事業に含む）	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	高校生キャリア育成事業（インターンシップ制の普及促進）	継続	市内の高校生に市内企業の事業活動を知ってもらい、将来、市内企業への就業と定住を促進	商工観光課	高	550千円	0千円	例年、本市と三次市雇用労働対策協議会及び市内高校（三次高校、三次青陵高校、日影館高校）の主催で実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	545千円	新型コロナウイルス感染症拡大の状況に配慮しつつ、各高校と協議をしながら事業実施の方向で進めている。 【実施予定日】令和3年10月19日（火） 【会場】市民ホールきりり 【参加企業】調整中 【参加者】対象309人
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	グローバル人材育成事業補助金	R03新規	市内高等学校での国際交流活動とおして、語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援	定住対策・暮らし支援課	高	—	—	—	1,800千円	市内高等学校での国際交流活動とおして、語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援するため、活動費の一部を補助する。 1 高等学校当たり600千円（上限）